

今週のビルマのニュース 2011年10月28日 (1134号)

深刻な洪水被害 政党登録法の改正 東部紛争地域の国内避難民状況

【ビルマ国内・国際関係】

- ・ ビルマ（ミャンマー）で政党登録法の改正案が議会の両院で承認された。大統領の署名を経て発効すれば党員資格や憲法についての立場に関する規定が変わるため、現在は法的には政党と認められていない国民民主連盟（NLD）が合法的な政党として登録する道が開ける。NLDは来週の中央執行委員会会議で政党登録をするか決めるとしている。（27、28日ミジマ、イラワディ）
- ・ ビルマ中央部で20日、豪雨による洪水で橋や家屋が流されたり水没したりして大きな被害が出ている。マグウェ管区パコックーでは22日現在、215人の死者が確認されたと報じられている。行方不明者も多数いるため、死者数は増えると見られる（24～30日ミャンマー・タイムズ）。このほか数千人が僧院などに避難している（28日DVB）。
- ・ ミッチェル米政府特別代表・政策調整官が24日から2日間ビルマを訪問。9月の初訪問に続き二度目。外相や下院議長、アウンサンスーチー氏らと会談した（25日イラワディ）。またインドネシアのマルティ外相が28日、民主化改革の進捗状況を調べるためビルマに到着。ビルマ政府は2014年のASEAN議長国就任を求めており、外相は調査結果をASEAN各国に報告する（28日ミジマ、日経）。

【政府開発援助（ODA）ほか】

- ・ ビルマ中部での洪水被害に対し1,000万円相当の緊急援助物資供与を決定（27日）。ODAについて新たな発表はなし。

【注目アイテム】

- ・ タイ・ビルマ国境支援協会（TBBC）がビルマ東南部紛争地域の国内避難民の状況について年次報告書を発表（25日）。1996年以来国軍が3,700の村を破壊、この1年だけで11万人が避難民に。<http://www.tbcc.org>
- ・ シャン州北部の連邦団結発展党（USDP）所属議員の支配領域で、昨年の総選挙以後アヘン生産が激増していることについてパラウン女性機構（PWO）が報告書を発表（25日）。<http://www.palaungwomen.com>
- ・ 「ダム建設に揺れるメコン川とイラワジ川」（26日ナショナル・ジオグラフィック）
http://www.nationalgeographic.co.jp/news/news_article.php?file_id=20111026001&expand&source=gnews
- ・ 27日にラングーンで行われた、土地の接収などに抗議するデモの様子（ロイター、動画約1分）。
<http://www.reuters.com/video/2011/10/27/farmers-in-rare-myanmar-protest>
- ・ 日本政府が21日、ODAによる補修工事の再開を表明したバルーチャウン水力発電所について、特定非営利活動法人メコン・ウォッチのウェブページ：<http://www.mekongwatch.org/report/burma/baluchaung.html>

【イベント情報】（〔 〕内は主催者。共催等は省略）

- ・ [アムネスティ・インターナショナル日本] 『This Prison Where I Live わたしが住む、この監獄』上映&元ビルマ政治囚による講演（日本大学法学部三崎町キャンパス3号館350教室、11月6日14時～17時半）
*元政治囚による講演は名古屋、新潟などでも開催。詳しくはアムネスティのウェブサイトを参照。
- ・ [関西学院大学] 2011年度大学主催秋季人権問題講演会「『民政移管』後のビルマ（ミャンマー）：開発事業がもたらす環境・人権への悪影響」ビルマ情報ネットワーク秋元由紀（関西学院大学上ヶ原キャンパスB号館101号教室、12月1日16時50分～）
- ・ [関西学院大学人権教育研究室] 「ビルマ（ミャンマー）の今 2011」写真展・トークセッション 宇田有三、秋元由紀（関西学院大学図書館。写真展11月28日～、トークセッション12月2日15時10分～）

もっと詳しい情報・お問い合わせは
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>